

鳥羽湯ったり海藻物語

1月28日 OA

鳥羽市立海の博物館 石原真伊さん

海藻を使ったアートのお話です。

鳥羽市立海の博物館では「海藻おしば作り」が体験できます。

この海藻おしばとは、海藻を押し花みたいに広げて乾燥させたものです。

全部拾ってきたもので、大きいのはワカメです。

日光が当たると変色してしまうのですが、室内や暗いところであれば、ずっと色を保って変色せず、きれいなまま見ていくことができるんです。

海藻は、緑藻類の緑色系、紅藻類の赤系、褐藻類の茶色系の3種類に分かれていてかなりカラフルな色をしています。

基本的には、年中生えているのですが、春の時期は海藻の季節とも言えます。

すごくきれいに育って、海藻おしばを作る人にとっては春に採った海藻が一番きれいなのでとてもいいと思います。

海岸に落ちていても、まとまっていて、海藻のきれいさというのはあまりわからないかと思います。

しかし広げてみると造形が本当に美しく、形自体も色んな種類があって面白いのです。

博物館では、鳥羽の海岸に打ちあがった海藻を使って、子どもたちに海藻おしばの体験をしていただいています。

子どもたちには自由に作ってもらっていますが発想力が豊かで毎回色々な作品が出来上がってきます。

私も毎回、とても楽しみです。

ほとんどの子どもたちは、実際に海藻を触ることがなく、色がこんなにあるんだということも知りません。

みんな驚いています。

食べるだけじゃない海藻の楽しみ方を伝えていきたいですね。